

CA2010-1

# 自動車事故調査報告書

大帝国建国委員会 国道 482 号線 公用車横転全損事故

平成 22 年 1 月 17 日

UPFG 政府 運輸安全委員会

本報告書の調査は、本件事故に関し、運輸安全委員会設置の政府命令に基づき、UPFG政府運輸安全委員会により、事故及び事故に伴い発生した被害の原因を究明し、事故の防止及び被害の軽減に寄与することを目的として行われたものであり、事故の責任を問うために行われたものではない。

U P F G 政 府 運 輸 安 全 委 員 会  
委 員 長 o m i . ( K R T F / 政 府 運 輸 大 臣 )

## 《参 考》

本報告書本文中に用いる固有の用語の取扱いについて

本報告書の本文中「U P F G」に関する固有の用語は次のとおりとする

### ① UPFG

- ・・・秋葉原大学准教授の運営する同人組織体。評論サークル秋葉原大学を主体とした複数の同人サークル及びサポートメンバーで構成され、組織の自治運営のため各サークルの代表者により構成される内閣及び政府組織、地方組織、澤田印刷株式会社（製本専門サークル）などのサポート組織などにより構成される。名簿記載者は現在 50 名おり、北海道から九州まで地方支店が存在する。

<http://upfg.lullsound.com/>

### ② 大宇宙拡大大帝国

- ・・・UPFG 構成サークルの一つで評論ジャンルにて活動を行う同人サークル。元々は同名のウェブサイトであった。詳細は以下のアドレスにて入手できる。近年、政府としての大帝国から、建国委員会への組織改編が実施された。

<http://d.hatena.ne.jp/blackeye2025/>

### ③ へいか★

- ・・・当該運転士のハンドルネーム。これに由来し、車は陸カーと呼ばれることもある。

### ④ 公用車

- ・・・大宇宙拡大大帝国絶対永久皇帝座乗公用車

### ⑤ コミックマーケット

- ・・・世界最大の同人誌即売会

### ⑥ かがみつく

- ・・・初音ミクのコスプレをした袴かがみ

### ⑦ 緋燕白昼夢

- ・・・べびぷり界隈の人気サークル。26氏のイラストには定評がある

### ⑧ 悲惨白昼夢

- ・・・⑦のサークルの新刊を、イベント当日の未明に泣きながら製本する状態

### ⑨ チルノ

- ・・・バカ

# 事故調査報告書

輸送事業者名：大宇宙拡大大帝国建国委員会  
事故種類：交通事故  
発生日時：平成21年12月31日 21時7分ごろ  
発生場所：国道482号線沿線

平成22年1月3日

UPFG政府運輸省運輸安全委員会（重大事故部会）議決

委員長	o m i . (政府運輸大臣)
副委員長	東村光 (秋葉原大学准教授)
副委員長	NT / f i v (かんたんのゆめ 主宰)
委員	たつゆき (緋燕白昼夢 悲惨担当)
委員	クインテッサ (遅延白昼夢 主宰)
委員	無限財政 (W E S C O 主宰)
委員(欠席)	しじみ (しじみネットワークス 主宰)
立会人	久樹輝幸 (久幸緋文 主宰)
立会人	八音

事故惹起者　へいか★ (大帝国建国委員会 委員長)

# 1. 交通事故調査の経過

## 1. 1 概況・経過

大宇宙拡大大帝国所属コルト（平成 20 年式）は、平成 21 年 12 月 31 日（金）、同人誌輸送のため走行中に、その制御を失い 21 時 7 分頃国道 482 号線に沿った河川内に転落した。同車には皇帝 1 名が乗車していた。車体は大破したが、火災、受傷者は発生しなかった。

## 1. 2 交通事故調査の概要

### 1. 2. 1 調査委員会の設置

本事故は、UPFG 政府運輸安全委員会が定める報告が必要な重大事故であって、30 分以上の輸送遅延、1 万円以上の物品の損傷を生じたものであり、政府が定める調査対象であることから、UPFG 政府運輸安全委員会は、平成 22 年 1 月 1 日、本事故の調査を担当する主管調査官ほか 6 名の事故調査官を指名し、事務局を UPFG 関西支社に設置した。

東村内閣は、本事故調査のため、事故惹起者とコミックマーケット 77 に参加した「NT/f i v（かんたんのゆめ 主宰）萌務大臣」を長野県諏訪市に派遣した。

政府は、主務大臣の事故調査のため、「内閣総理大臣東村光」を長野県諏訪市に派遣した。

### 1. 2. 2 外部の代表

本調査には、客観性を担保するため UPFG 構成外サークルより 2 名の立会人が指名され、参加した。

### 1. 2. 3 調査の実施時期

平成 22 年 1 月 2 日 長野県諏訪市にて、事故惹起者から口述聴取を実施した。

平成 22 年 1 月 3 日 大阪府大阪市にて、事故惹起者を召喚した運輸安全委員会

平成 22 年 1 月 9 日～16 日 各種統計調査

### 1. 2. 4 原因関係者・調査参加サークルへの公聴

大阪府大阪市にて全委員が出席する運輸安全委員会会合を開き、意見聴取・照会を行った。

### 1. 3 事実情報

当該事故車両は、平成 21 年 12 月 31 日まで開催コミックマーケット 77 における戦利品同人誌（東方ジャンル主体計 40 冊、プレイステーション 3 本体、デジタル一眼レフカメラ、ふもふもシリーズぬいぐるみ、Figma 博麗霊夢、ねんどろいど霧雨魔理沙）を積載し、国道 482 号線を下り方向に向けて走行していた。

最終目的地は兵庫県城崎市、搭乗者は運転士のへいか★のみであった。車両は冬季に備えスタッドレスタイヤへの換装を平成 21 年 12 月上旬に終えていた。出発前及び事故発生に至るまで、不具合は発見されていない。

現場は隧道から続く河川に沿った蛇行区間であり、事故当時の路面は前日からの降雪による圧雪状態であった。当該車両は隧道区間下り道を走行中に若干速度が早いと感じた為、エンジンプレーキによる減速を試みた。ギアを二速としたまま隧道区間を通過後もエンジンプレーキを継続したが意図した減速が得られないため、加えて常用ブレーキによる減速を試みたところ、後輪が滑走し通常の制動が失われ、車体後部が進路に対し、右側へと滑走した。

当該車両は当初進行方向向かって右側へ生じた横滑りを打ち消すため、左旋回を行ったが逆に左方向への横滑りが誘発された。再度均衡を得て制動を回復するため、右方向への旋回を行うも、横滑りは解消されず、また速度も十分な減速を得なかった。右方向への旋回に伴い右方向への横滑りが生じたことにより完全に制御を失った車体は、車線より逸脱し、路肩より転落した。

転落斜面は、国道に沿って流れる河川の法面であり、徐々に減速しながら約 5 メートルを落下した段階で、進行方向右側前照灯付近より地面に接触・衝撃。直ちにエアバッグが動作した。

直後に進行方向右側後部が接地し、右横転し前部がやや沈み込んだ状態で静止した。

## 2. 認定した事実

### 2. 1 運行の経過

事故に至るまでの経緯は、大宇宙拡大大帝国建国委員会（以下「建国委員会」という。）委員長のへいか★が所有する委員会専用車両（以下「本件公用車」という。）の運転士（以下、「本件運転士」という。）の口述によれば、概略は次のとおりであった。

#### (1) 本件運転士

帰宅中の本件公用車は、国道 482 号線を走行していた。前日から降り続けている雪の影響で路面は積雪で埋もれており、また夜間であったこともあり、除雪されていない道を本件運転士は、注意しながら走行した。

本事故が発生した国道 482 号線は、積雪のない場合でも、カーブや峠がある走りにくい道路であった。本件運転士は事故発生付近を通過する際は、いつも大幅な減速を行いカーブに突入する癖があった。

事故現場に 500m 手前から下り坂が続いており、本件運転士は減速のため、「ドライブ (D)」から、「2 速 (2)」にギアを入れた。100m 手前くらいで、以前走行したときよりもスピードが速いことを感じた。このままだとカーブを曲がりきれないと判断し、常用ブレーキによる制動を試みた。

ブレーキにより後輪がスリップし操縦不能になり、走行方向右側の河川に衝突した。

事故後、エアバックのガス臭により、意識を覚醒させ無傷と確認した。ドライバー席は公用車が横転していることから、シートベルトのみで拘束されている状態であった。シートベルトを開放し、助手席側に落下することで、水平を確保した。

水平を確保後、公用車ドライバー席側のパワーウィンドウを動作させ、外気と接した。そこで携帯電話機を用いて、国道 482 号線にて交通事故が発生させたことを所管警察に連絡した。

なお、本件公用車の乗務開始から事故に至るまで、車両には異常はなかった。

また、連絡の際は NTT docomo の回線を使用し、本件運転士が別に趣味用に保有するソフトバンク端末の iPhone は圏外で使用できなかった。

## 2. 2 人の死亡、行方不明及び負傷

本件公用車 乗客 なし。

本件公用車 運転士 右指を落下の際に車内にぶつけ、軽症。(出血等なし)

本件公用車は運転士のみが乗務した単独自損事故である。本件運転士は本件公用車に装備されたシートベルト、エアバック及び衝撃対応車体により、ほとんど無傷であった。

## 2. 3 物損に関する情報

### 2. 3. 1 車両被害

三菱自動車製普通乗用車 COLT (平成 20 年製新車調達品) 全損

本件事故に伴い本件公用車は全損廃車となった。損傷箇所として、特筆されるものは車両前部にそのほとんどが集中しており、側面や後部の損傷はない。前部に損傷が集中した理由として、本件公用車が常用ブレーキを使用し、スリップを開始した後も、ブレーキを踏み続けたことにより、速度低下が発生したと考えられる。

正面から斜面を降下しながら、河川に衝突し河川水底の地形により、進行方向逆に横転しており、前部に第一の衝撃が加わり、エンジンルームにより大半が吸収されたと考えられる。その結果、進行方向とは逆向きへの横転は自重による横転であり、エネルギーとして衝突のそれより、軽減されたものとなったと考えられ、前部の損傷集中につながったと推定できる。

本件公用車の被害としては、前部エンジンルームと一部内装系カバーの脱落が見られるが、著しい損傷は車前部のエンジンルームであり、側面被害や窓の割れも見られない。左右のサイドミラーも現存している。

補足事項として、本件公用車は「いわゆる」痛車であったが、本件公用車前部ドア（助手席側のみ）、後部ドア、リアウィンドウのカッティングステッカーに損傷はなかった。また、ボンネット上に左右にカッティングステッカーを設置されており、唯一の損傷は運転席側付近にあったモノクロカッティングステッカーであった。

本件公用車は、任意保険に加入しており、対人無制限、対物 1000 万円、車両価額 160 万円であった。後日、保険評価により保険金額は 125 万円と評価された。本件公用車は調達から 2 年経過しており、その判定は妥当であると評価される。

### 2. 3. 2 道路設備

本件事故による道路設備の物的被害は生じなかった。本件事故現場は、下り坂横に河川が隣接する道路であるが、落下防止用のガードレールは設置されていない。傾斜法面も降雪による保護のため、被害は生じていない。

本件事故の教訓として、本件事故現場にはガードレールの設置が今後の事故防止の有効な対策になると考えられる。

### 2. 3. 3 車載荷物

主な車載品は、次のとおりである。

PS3 一式（薄型）、デジタル一眼レフカメラ（EOSkissX2+タムロン 18-270mm）、コミックマーケット 2 日目購入同人誌 40 冊、ふもふも咲夜、ふもふも霊夢、ふもふも魔理沙他ぬいぐるみ 5 名以上、化物語 1～3 巻 BD、パトレイバー 2BD、イノセンスアブソリュートエディション BD、コミックマーケット企業ブース調達品目 **figma** 博麗霊夢、ねんどろいど霧雨魔理沙。

車載していた荷物には被害は生じなかった。

積載品の中でも、精密電子機器であったプレイステーション 3 は、その後無傷で帰宅した本件運転士が、年明け早々に映画鑑賞に使用しており、損傷はない。

コミックマーケット 77 における最新の同人誌も、本件事故に関与した警察官の支援により被害は生じていない。

### 2. 3. 4 環境被害

本件による環境被害は生じなかった。なお事故車両より燃料油の河川への流出はなかった。



### 2. 3. 5 交通被害

本件車両の撤去のため、当該現場にて1月1日11時00分より13時00分まで片側交互通行の交通規制を実施し、撤去作業を行った。また事故調査に供出するため撤去状況の写真・動画記録を行った。

## 2. 4 運行乗務員に関する情報

### 2. 4. 1 運転士 男性 にわか東方厨

普通中型自動車免許証

限定事項 AT 限定

平成16年3月20日取得

### 2. 4. 2 UPFG職員としての発令状況

本件運転士は、中学時代より大宇宙拡大大帝国思想を持ち、大学入学時までに国家運営体制、行政組織を設定し、運用を行っていた。平成17年2月に政府在木屋町総領事館（愛媛県松山市）の外交に対する不当介入を行い、以後政府に対する敵対的示威行動を繰り返していたが、平成17年7月に本件運転士が愛媛県松山市を訪問し、東村光政府首相と会談し、国交を締結し、互いに大使を交換し、UPFGに採用された。

平成18年1月に東村首相が、当時の大帝国政府の事実上の首都であった石川県金沢市を訪問し、UPFG金沢支店を設置（中部支社管内）し、本件運転士に対して金沢支店長を発令していた。平成19年1月には金沢支店が北陸支社に格上げされたことに伴い、同支社長に昇格した。平成20年4月に金沢支店より福知山支店長へと転出した。平成21年9月に発足した第五次東村内閣では、外交上の実績を評価され、外務大臣として入閣していた。

## 2. 5 事故発生後の対応に関する情報

### 2. 5. 1 事故後の対応・通報

当該事故発生後、運転士は警察並びに家族に対し、事故の一報を携帯電話にて報告した。

なお本件による被害は生じていないため、事故に関する調書は作成されていない。

車体静止後、当該運転士は自らが受傷無しであることを確認し、すぐに所管警察に第一報を110番にて報告を行った。その際に警察から「本線を支障しているのか？」と問われたので、運転者は「大丈夫です。川の中です（キリッ）」と回答した。また事故現場の正確な地点が不明であったため、連絡した携帯電話よりGPS情報を取得し、現場地点を確認した。つづいて実家に連絡を行い、親が応答。救助を要請した。

この際に親から怒られることを懸念したが、既に痛車にした段階で見放されていたため、特にお咎めはなかった。

車両は河川内に転落したが、幸いにも窓ガラスの破損がなかったため、車内への浸水は逃れた。救助が来るまでの間、パワーウィンドウにて開いた窓から脱出し、横転した車両側面上に座り込んだが、寒いため車内に戻った。

また路肩に戻り救助を待つことも可能ではあったが、コミケで獲得した同人誌（東方中心）や Figma 博麗霊夢、ねんどろいど霧雨魔理沙など重要調達品が車内に残留しており、離れることに不安があったため、車内に残留し、荷物の安全を確保しながら救助を待った。

親、続いて警察が現場に到着し、検証が行われた。本件は純然たる自損事故であり、他の被害が生じていないため、警察の役割は事故の認知のみに留まる。

警察に対し、状況及び救助にいたるまでの経過と報告を行った際に、警察官より車両外装にある意匠について「初音ミクですよ〜ね？」という確認があった。運転士は正確に事実を報告するため「かがみっくです」と回答した。

また事故後、路肩に戻ることも可能でありながら、不自然に車内に留まったことについて、質問を受けた際に、運転士は「コミケで獲得した重要調達品が大量に積載されているため、これらの保全を行う必要がある。その為に車内に留まった」と回答したところ、警察官は「なるほど、それで荷物を大切にされたわけですね」と説明を了解した。

またコミケ帰りであることを明らかにしたところ、警察から「大変元気ですね。私も行きたかったです」とのコメントを貰った。

23 時までに現場検証を終了し、親の車両にて運転士は当初の最終目的地である兵庫県城崎市の実家へと帰着した。帰着後、事故車両にて輸送していたプレイステーション 3 を用いて劇場版パトレイバー 2 BD 版などを視聴し、鹵獲同人誌の閲覧を行い、1 日未明に就寝した。

1 日 11 時より事故車両の撤去を行い、13 時までに作業を完了した。その後、関係各所への謝罪及び挨拶を行った後、22 時までに運転士は自宅へと帰宅した。翌 2 日午前 4 時より、予定通り初詣のため長野県諏訪市に向け、出発した。

## 2. 5. 2 関係諸機関への連絡

政府に対しては、当該運転士より事故一報に先立つ 1 月 1 日 17 時 45 分頃、電話にて翌 2 日より実施予定の諏訪初詣旅行の計画実施についての問い合わせを行っている。なお、本件電話にて事故についての言及はなかった。その後 17 時 58 分頃、当該運転士のブログにて、写真並びに状況の報告が公開され、直後に iPhone 集団メッセージング機能にて、UPFG 主要関係者に事故情報の回覧が行われた。また同時刻に twitter にて当該情報の公開を行った旨を呟いた。

政府では速やかに、当該運転士に対し、iPhone、twitter の双方にて「ざまあ」との反応を返した上で電話連絡を行った。また電話連絡時に政府官邸に滞在していた NT/fiv（かんとんのゆめ主宰）は、本件事故がツボに入った為、約 30 分に渡り歓喜の反応を示し続けた。

なお、計画されていた 2 日の諏訪訪問計画は予定通り催行された。

### 2. 5. 3 親戚への影響

当該運転士は、事故車両を一昨年夏に取得した。直後より小さなステッカーを貼付していたが、平成21年5月に諏訪地方への取材の為、長距離走行を行うのにあわせ、柊姉妹のステッカーを貼付し、一般的に痛車と分類される意匠を施している。既にこの段階で親戚一族に痛車に搭乗していることは認知されていた。また運転士の実家自室には大量の側室（フィギュアの運転士身内コミュニティの呼称）が展示されており、特にヲタク趣味を隠蔽するようなことは行っておらず、親戚からこの事故車両が痛車であったことに対する特別な反応は得られなかった。

### 2. 5. 4 報道影響

ブログにて状況が公開されていた為、アドレスが関係者メッセージや twitter 引用機能 (RT/QT) などにより徐々に拡散していった。公開開始から3時間後にはふたば★ちゃんねるへの画像投稿が確認された。2日には2ちゃんねるニュース速報板他でスレッドが立ち、同日午後までに一部のスレまとめブログにて当該記事が紹介されるに至った。

これら拡散記事及び有象無象のネット住民による反応の中には事実と異なる認識や理論が破綻した見解も多々見られたが、1次情報に接することが難しいネット社会特有の事象であると評される。なお、本件事故報道の波及状況については、秋葉原大学より発行された緊急論文にて調査・報告を行う。

### 2. 5. 5 本件事故による大帝国建国委員会の広報対応

事故報道が際限なく急激な拡大を見せる中で、大帝国建国委員会は、世界を監督する立場より、ネット社会に対する説明責任を果たすべきであると考え、運輸安全委員会の調査報告及び検証内容を広く公告する必要があると判断した。1日夜のうちに、UPFG 加盟団体のうち、運輸・交通クラスタ（構成員はUPFG 閣僚級を主体とする）を中心とした調査委員会を設置した。

また事故状況の検証のため、秋葉原大学造形学部に対し、事故現場の資料を提供し、ジオラマの作成を依頼した。これは当該車両が既に撤去されているため、状況の正確な再現ができないことに伴う措置である。また同時に系列サークルのイベント参加状況を調査し、直近の大規模イベントであるこみっくトレジャーにて本件事故調査報告誌の発行及び各種模型資料の展示を決定した。

### 3. 原因

本件事故は、空転・横滑り発生後の制御失敗に起因した事故である。なお一部ネット上にて指摘のあったチェーン装着は、素人の指摘であり、降雪地帯において冬季に普通乗用車スタッドレスタイヤに改めてチェーンを巻くような実態は存在しない。(夏タイヤの車両に応急的な冬季走行措置として行うのがチェーン装着である)

### 4. 所見

本件事故は、痛車による全損事故というヲタク社会から強い社会的関心を起こさせる重大事故であった。本事故の直接の原因は運転技量の上の問題であるが、犠牲被害が全く発生しなかったため、本同人誌の素材として用いることが出来たが、万が一人的被害が発生し、かつ加害車両が痛車であった際の社会的非難については、相当厳しいものであろうことが想像に難くない。痛車による自損自爆事故であるがこそ、今回の件は笑って済ますことが出来たのであり、事故惹起者は、再度の事故発生を防ぐことを徹底すると同時に、痛車事故発生時のリスクを十分に理解し、防護安全運転の徹底に日常的に留意するべきである。

### 5. 参考事項

本件事故を受け、UPFGとして行った対応は以下のとおりである。

#### (1) 安全運転守の授与

本件事故を受け、運輸安全委員会では再発防止策として伏見稲荷大社の交通安全厄除守3種類を運転士に贈呈した。また運輸安全委員会より再発防止に向けた運転技量の向上について勧告を行った。

#### (2) 次期痛車意匠案の公募

廃車となった当該事故車両の代替として、3月に普通乗用車が導入される見込みであるが、本件事故のイメージを払拭し地域社会に根付いた痛車とすべく、デザインについては公募を行い決定することとした。